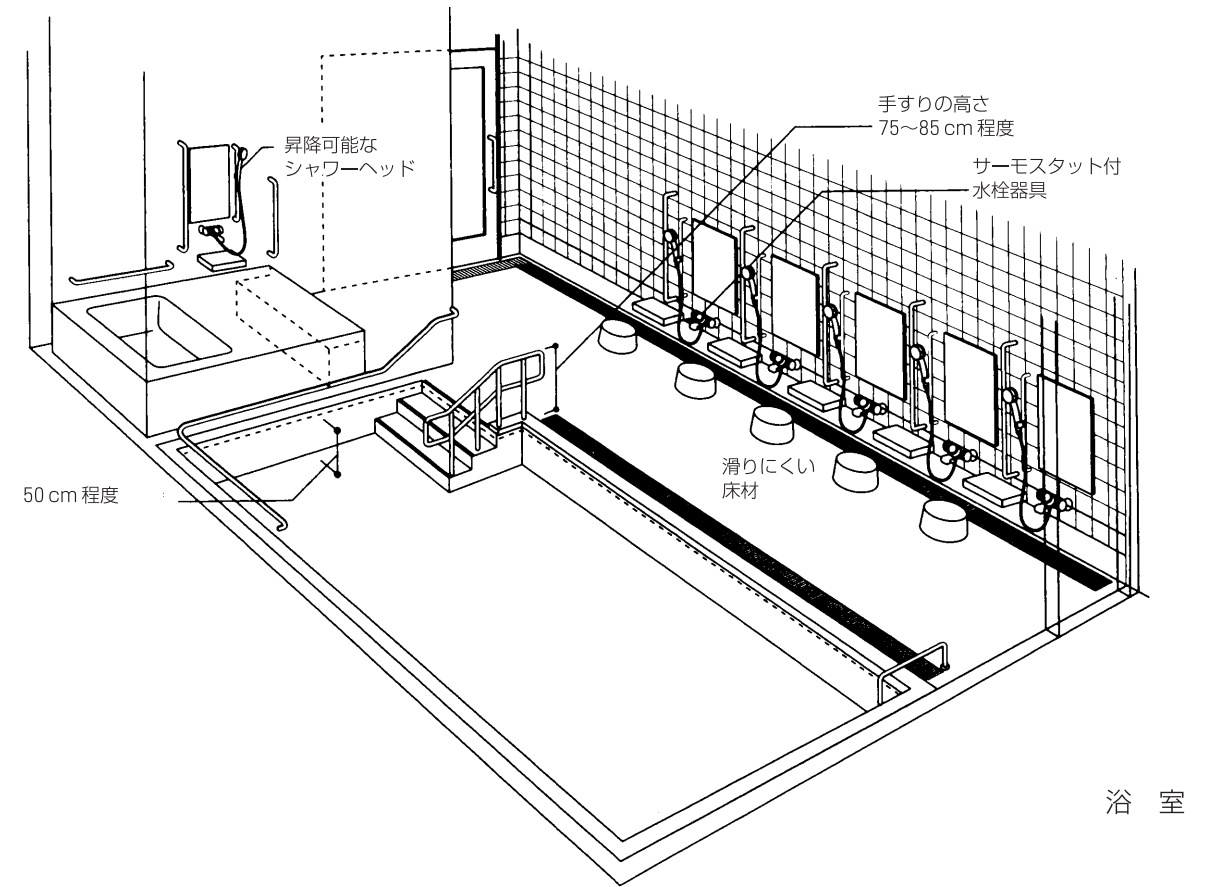


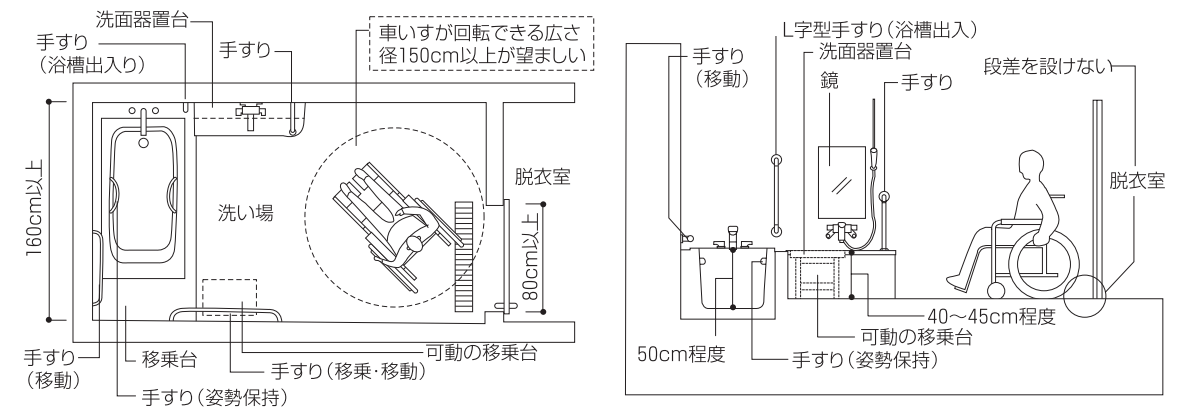
10 共同浴室

■基本的な考え方■

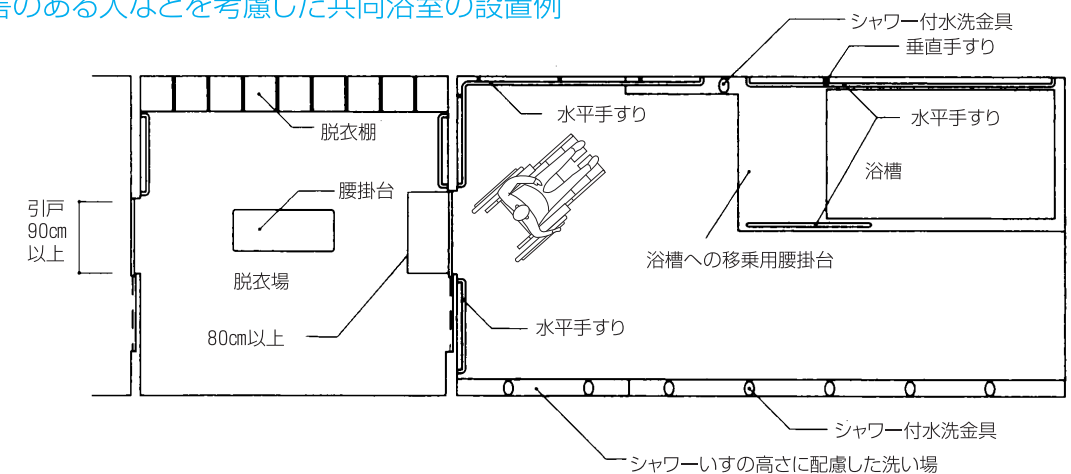
浴室は、高齢者、身体障害者等にとって転倒等の危険性が高い場所であるため、安全かつ円滑に利用できるように整備する必要がある。また、浴室の一端に車いすが横付けできるスペースや介護者が付き添えるスペースを確保するように配慮する。



家族浴室の設置例



障害のある人などを考慮した共同浴室の設置例



整備基準

10 共同浴室

共同浴室を設ける場合においては、次に定める構造の浴室を1以上(男子用及び女子用の区分があるときは、それぞれ1以上)設けること。

- (1) 車いす使用者が円滑に利用することができるよう十分な床面積が確保され、かつ、浴槽、洗い場、脱衣用の腰掛け台、手すりその他の設備が適切に配置されていること。
- (2) 脱衣場及び洗い場の出入口の幅は、内をりを80センチメートル以上とすること。
- (3) 脱衣場及び洗い場の出入口には、車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けないこと。
- (4) 床の表面は、滑りにくい材料で仕上げること。
- (5) 浴室の出入口の戸に施錠装置を設ける場合においては、緊急の際に外から開けられる構造とすること。

目標となる指針

10 共同浴室

不特定かつ多数の者が利用する共同浴室を設ける場合においては、次に定める構造の浴室を1以上(男子用及び女子用の区分があるときは、それぞれ1以上)設けること。

- (1) 車いす使用者が円滑に利用することができるよう十分な床面積が確保され、かつ、浴槽、洗い場、脱衣用の腰掛け台、手すりその他の設備が適切に配置されていること。
- (2) 脱衣場及び洗い場の出入口の幅は、内をりを90センチメートル以上とすること。
- (3) 脱衣場及び洗い場の出入口には、車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けないこと。
- (4) 水栓器具は、身体障害者等が円滑に操作できる構造とすること。
- (5) 非常通報装置は、身体障害者等が円滑に操作できる構造とするよう努めること。
- (6) 床の表面は、滑りにくい材料で仕上げること。
- (7) 浴室の出入口の戸に施錠装置を設ける場合においては、緊急の際に外から開けられる構造とすること。

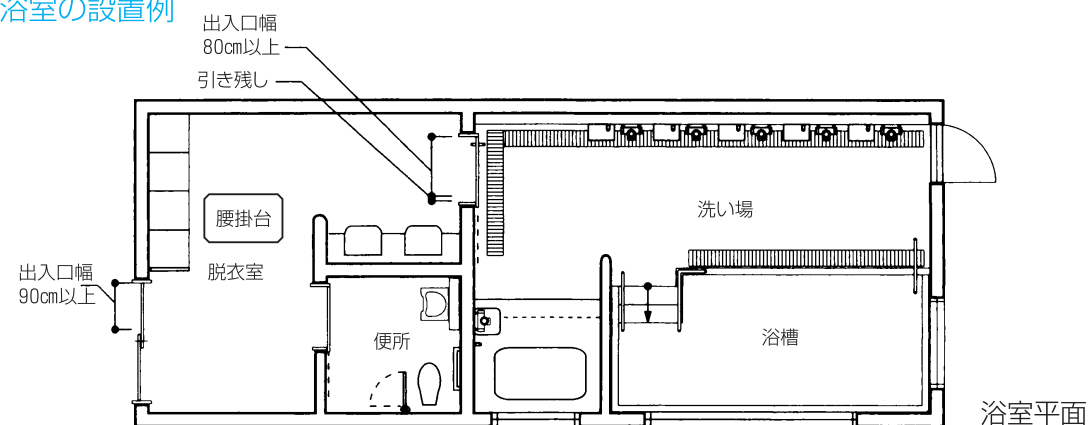
整備基準の解説

●整備の対象

共同浴室を設ける場合には、一以上の共同浴室を車いす使用者が利用できる構造とする。

| 項 目 | 解 説 |
|------|---|
| (2)幅 | ○脱衣場及び洗い場の出入口の内り幅80cmは、車いすが通過できる寸法。なお、廊下に面した出入口は1の項〔出入口〕の各室の出入口となり、内り幅90cm以上必要。 |

共同浴室の設置例



目標となる指針の解説

●整備の対象
不特定かつ多数の者が利用する共同浴室を設ける場合には、一以上の共同浴室を車いす使用者が利用できる構造とする。

| 項 目 | 解 説 |
|-----------|---|
| (2)幅 | ○脱衣場及び洗い場の出入口の内のり幅90cmは、車いすで通過しやすい寸法。 |
| (5)非常通報装置 | ○洗い場及び浴槽のどちらからも手の届く位置にループやひもをつけて設けるよう努める。 |

配慮事項

| 項 目 | 解 説 |
|--------------------|--|
| (1)出入口 | ○出入口前後に車いす使用者が直進でき、方向を転回できるスペース(140cm角程度)を設ける。 ○扉等にガラスを使用する場合、転倒等による事故防止を考慮し、安全ガラス等を用いる。 |
| (1)浴槽 | ○車いすで浴槽に接近できるスペースを確保する。 ○和洋折衷のものとし、深さは50～55cm程度とする。 ○エプロンの高さは車いすの座面と同程度の高さ40～45cm程度とする。 |
| (1)洗い場 | ○車いすから移乗しやすい形状とし、車いすの座面と同程度の高さ40～45cm程度とし、下部には車いすのフットレストが入るようにクリアランスをとる。 |
| (1)腰掛け台 | ○車いすでの使用に適する高さ及び位置とする。 高さ：40～45cm程度、幅：180cm程度以上、奥行き：45cm程度以上とする。 ○上体の寄り掛かるヘッドボードをつける。 ○表面はクッション材付とする。 ○必要に応じ、上部にぶら下がり用の吊り輪又は壁面にたて手すりを設ける。 |
| (1)手すり | ○水平及び垂直に取り付ける。特に、洗い場と浴槽の移動に際しては立ち上がる動作を補助するため、垂直タイプの手すりを浴槽の縁から10～15cm程度上方の位置に取り付け、必要に応じて連続させる。 |
| (1)水栓 | ○座ったまま届く位置に設ける。 ○レバー式等操作しやすいものとする。 ○混合操作を容易にするため、サーモスタット（自動温度調節器）の付いたシングルレバー式とする。 ○個室用の浴室の場合、取り付け高さは、洗い場から手が届き、かつ浴槽に座ったまま操作可能なものとする。 ○冷温水の区分等を点字で表示する。 ○シャワーは原則としてハンドシャワーとし、シャワーヘッドは昇降可能なものか、上下2か所の使いやすい位置にヘッド掛けを設ける。 |
| (1)収納棚 | ○車いすでの使用に適する高さ及び位置とする。 下端：30cm程度、上端：150cm程度、奥行き：60cm程度とし、下部には車いすのフットレストが入るようにクリアランスをとる。 |
| (1)移動台及び 介助スペース | ○個室用の浴室には、浴槽の縁の1か所に、車いすから移乗できる広縁を設ける。 広縁の高さ及び奥行きは、浴槽と同程度とし、幅は45cm以上とする。 ○浴槽の回りには2方向以上から介助できるスペースをとる。 |